

病の文学

【Literatures of Patients】

担当責任者 准教授（哲学概論） 樫本 直樹

ねらい

病気には、身体的な疾患 (disease) と精神面を含む病い (illness) の側面がある。この授業では、主に後者の視点から「認知症」をテーマとして取り上げ、認知症を抱えた人の書いた手記、認知症について書かれた文章などを読むことを通して、認知症の人の心境、本人とその家族が抱える困難や苦しみに触れ、患者やその家族の側から医学や医療の営みを眺めることを試みる。また、こうした作業を通して、日本で「老いる」とはどのようなことなのか、医療や看護の基礎となる「ケア」とはどのような営みなのかについても考える。

学修目標

1. 認知症の人の書いた手記等を読み、患者自身の側から、患者の考え、感じ方を理解することができる。(VI-1)
2. 人生の悲哀、苦悩、絶望、希望について実感的に理解できる。(VI-1)
3. 患者を理解することを通して、患者やその家族の側から医療・看護について眺めることができる。(I-1, IV-8)
4. 医療や看護の基礎となるケアとはどのような営みなのかについて理解できる。(I-5, VI-1)

事前事後学習の方法

授業で配布した資料を読んで、理解を深めると同時に、インターネット等を使用して社会で実際どのような取り組みがされているのかについて調べ自己学習につなげる。

成績評価方法・基準

1. 科目試験 (60%)、6回の講義レポート (30%)、受講態度等 (10%) を基に総合的に評価する。
2. 100点換算で60点以上を合格とし、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教科書

とくに指定しない。

○ 参考書

小澤勲「認知症とは何か」2005年 岩波書店

クリスティーン・ボーデン、桧垣陽子訳「私は誰になっていくの？ アルツハイマー病患者からみた世界」2003年 クリエイツかもがわ

恩蔵絢子「脳科学者の母が、認知症になる：記憶を失うと、その人は”その人”でなくなるのか？」2021年 河出書房新社

藤川幸之助「母はもう春を理解できない：認知症という旅の物語」2021年 株式会社harunosora

その他については、授業内で適宜提示する。

講義：2201講義室

年月日	曜日	時限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.3	金	7・8	認知症の人の置かれた状況 講義レポート①	PR GE	03 04	01 02	01 01	樫本 直樹
10.10	金	7・8	認知症を生きる：手記 講義レポート②	CM	01	02	01	樫本 直樹
10.17	金	7・8	認知症を生きる：手記 講義レポート③	CM	01	02	02	樫本 直樹
10.24	金	7・8	認知症の人にどう向き合うのか：GW 講義レポート④	GE CM	04 03	02 01	01 02	樫本 直樹
11.7	金	7・8	認知症の人にどう向き合うのか：発表 講義レポート⑤	CM	03	01	01	樫本 直樹
11.14	金	7・8	認知症の人の世界をどう理解するか：医療におけるケアの本質 講義レポート⑥	PR CM	03 01	01 02	01 01	樫本 直樹
11.28	金	7・8	科目試験	LL PR	01 03	01 01	02 02	樫本 直樹